

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「仲良くふれあいの場を」を職員皆んなで念頭に置いて1歩1歩、歩んでおります	地域の運動会に喜んで行かれます。公園などにも散歩に出向きたいと思います。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念のもと、「ゆっくりゆったり、けれどもしっかり」を念頭に置き、毎日の申し送り後に唱和し壁にも大きく掲げて実践致しております	職員にも毎日の業務内にも忘れること無く実践してしております、フロアーにも大きく掲げ玄関にも提示してあります。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	ホームの玄関先やフロアーに掲示していつでもご覧になれますように致しております。	
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	近辺に住宅が少ないので、公民館長さんや民生員さん等と相談になって頂いております。・老人会などにも声かけしていつでも気軽に立ち寄っていただけるように交流会を進めています、職場体験の子どもさんにも夕涼み会等には来て頂いています。	老人会の方々にグールホームの説明などもおこなっています。初めての方もおいでで楽しく過ごせたとの事でした。今後も参加の呼びかけをして気軽に友達付き合いが出来るように進めて参りたいです。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	孤立することなく、自治会や老人会に声かけし、地域の人々との交流に努めている。花見会や運動会など	地域の老人会や保育園等にも声かけをおこなって行きたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営委員等で公民会長さん、民生委員さんや介護保険課の職員の方等と話し合いを持ち協力していただけたことで地区の運動会や老人会の方々との交流会を持って行いました。		地域の高齢者の方々と昼食を共にし、グループホームとはという事で話し、又、質問等受けて分かりやすく説明し、地域の中に入りやすいように、取り組みを行っています。現在地域との運動会に参加させていただいています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	皆、それぞれに意見を出し合い、又、気付かない点等を改善に向けて、取り組んでいます。外出の機会を持つ様に考慮しています。		花見会、初詣、外食、妙円寺参りの応援(あったかハウスの横を歩かれる方々)
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進委員の方々に、こちらの状況等を話し合いし、それについて、個々の意見等を頂きながら向上に向けています。		地域との交流の場をとの話し合いで公民会長さんより老人会への状況をお尋ねして交流会を致しました。あったか便りで家族様への顔写真は良いのか等
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連絡を密に取り、行事等へのボランティア的参加を呼びかけてます。分からないことに対してTELなどをして意見を聞いております。		社会福祉協議会よりボランティアの方々に来ていただいたり。子供さんの踊りなど慰問に来て下さり皆さん楽しませておられました、
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	月1回のミーティングで、分からない事や実例等交えて、勉強会を行っています。		後見人制度を家族様がされた為に職員にも理解して頂く為に勉強会を行ったり疑問に思った時はその都度説明をしています、
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士、困ったことがあれば、そのことに対して皆で意見を出し合い考えて行っています。勉強会も行なっています。		言葉の虐待もありません。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所、退所時説明を行なっています、又電話や面会時に不明な点はその都度説明をして納得頂いています。	体調不良により、退居される際には、主治医より病状説明していただき納得の上退居の手続をさせていただいております。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員会を設けております、利用者様の意見を尊重して、朝の申し送り時等で職員間で話し合いながら運営いたしております。	入居者様同士、気の合わない方々の気持ちを考慮して意見聞きながら席を決めたり入浴時に気持ちよく入浴出来る様に気の合った方と一緒に頂いて居ります。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の割合でお便りで状況報告したり、金銭帳など確認していただき印鑑を頂いています。施設内のあったか便りや家族会等で職員紹介を致しております。医療連携を図り早期発見に務めご家族様にも連絡し説明いたしております。	急変時は医療連携にて主治医か看護師と連絡して必要時は病院受診してご家族様に電話で状況報告しています。時お便り時は写真等もお送りいたしております。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入り口に意見箱を設置したり第三者委員会も設けています、家族会時説明しています苦情が出た場合はすぐに理事長とも解決の話し合いをし改善に努めております。現在苦情なし。	○ 今後、苦情がでた場合は早めに対処していきたいと思っております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日本一やさしい心の10か条により職員の意見を否定せずに言葉を大事にして毎日の業務に入れて行っております。ミーティング時話し合いも行っております。	職員の意見は大事にしてミーティングで話し合いを持つております。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員いつでも連絡が取れる体制になっております、又行事の時などは社会福祉協議会よりボランティアの方たちの手伝いを頂いております。	緊急入院時や年行事の時は職員は参加していただいております、職員気持ちよく業務に着いて下さいます。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	早めに対処し少しでも長く介護業務して頂くように話し合いを持って業務いたしております、管理者だけで解決出来ない問題は理事長などに相談致しております。職員交代の場合は利用者様を考慮して職員の配置を致しております	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(部分は外部評価との共通評価項目です)			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	誠心会全体で新人研修を行ったり他の研修会に参加致しております、あったかハウス施設内でも月1回勉強会をおこなっております。	認知症についての勉強会、介護支援専門委員1回/月勉強会をおこなっています。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設を見学して来たことを職員の皆で話し合い少しでも良いところを話し合い良いサービスが出来るように努力を致しております。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人全体の福利厚生が充実しており人間関係もよく楽しく務めております、又歓迎会、夏祭り、忘年会、ボウリング、カラオケ、食事会、等。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	会議の中で報告を受けています、職員の意見を聞き職員が良い介護が出来るように勉強会などを行い個々向上に努めています	研修会に参加していただいたり(認知症とは、身体拘束、介護支援専門委員会のアセスメントに関して)等、又職員の話しを直説聞いたり疑問点などに答るようにしています。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	身体的なこと能力的なこと又認知力低下により表明が困難な時でもサインを見落とさないように対応いたしております。各入居者様に職員の担当者を決めておりますが勤務者がその日の状況を朝のミーティングにて説明し、送りノートにでも情報交換し職員皆が理解して毎日を行なえるようにいたしております。	毎日送りノートに記入して職員が目を通し印鑑を押すように指導いたしております、一般状態もバイタルチェックにて体調の変化に務めております、医療連携も図っています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	理事長、ソ-シャルワーカーや介護専門員と相談しております、又入居後も電話や面会を通して話し会える場を提供し情報交換をいたしております。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	理事長、介護相談員、介護支援専門員、管理者と相談本人や家族の希望を聞き支援いたしております。ケアプランにも反映して能力に応じた支援を致しております。		入所時にご家族様にも確認いたし反映いたしております。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	グループホームの役割を説明、入居者様に日常の生活に慣れていただくことから始めています、他の入居者様、職員と一緒に少しずつ始めて能力に応じて行い拒否時はゆっくりして頂いております。家族にも状況報告を致し意見も取り入れて支援をしています。		入所時にご家族様や本人様にもグループホームの説明を再確認し説明いたしております。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒にお茶の時間を過ごしたり話をしたりしています、若い職員と昔の言葉や生活暦を教えて頂く時もありますし畑の野菜作りの指導も戴いております。		若い職員が多い為に方言の言葉の意味や料理の指導をいただく時があります。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の生活暦や尊厳を大切にし、家族様と話し合いの場を持ち安心して生活して頂ける様にこころがけています。		食事会を年2回行事の中に取り入れ一緒に食事していただいております。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時等や毎日の生活の状況をお伝え出来る様にお手紙を発送させて頂いております、写真も送っております。		面会時にお茶などをお出して自室にてゆっくり過ごしていただいております。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所時に家族様よりお聞きして入居様とのコミュニケーションを図っています。		面会後再確認しても忘れておられる為に話を思い出していただいております。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	天気の良い日室外で円いテーブルを囲みお茶を飲んで楽しんだりして居ります、職員も入居者様が孤立しないように声かけや励ましを行い支援しております。季節によりつわむきや漬物干し大根など作っていただいております。		あい、ゆめフローア合同でお茶会を致します

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	年2回の「あったか便り」の発送、年賀状・暑中見舞いの発送や、花見・クリスマス会のご案内・招待状の発送をしている。		年賀状や暑中見舞い等名前だけでも書いていただいております。
Ⅲその人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様のご希望を基本に、ご家族様とコミュニケーションをとりながら配慮しその日の健康状態も考慮しています。		入院された入居者様は面会に行ったりしています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者様、1人1人の尊厳や経験を元にしながら、ご家族様との面談時に情報交換を行っています。能力に応じ自分が出来ることは自分で行なっていける様に進めています。		洗濯たたみや手拭たたみ、お茶碗拭き等
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケアプランに生かし見直しをしながら、入居者様の人格や個別性を重視し利用者様の能力に応じてさり気無く支援致しております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日のモニタリングや申し送り、月1回のミーティング又は、常に面談や電話、お手紙等でご意見・ご要望を伺いながら作成しています。		ケアプラン原安の作成後ご家族様よりの意見を聞き入れています。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご家族様や主治医の意見も取り入れ見直しを行い、常に面談や電話、お手紙等でご意見・ご要望を伺いながら作成しています。		変化時はご家族様との連絡、報告し今後の見直しに主治医、介護専門員、介護職員の意見を取り入れて見直しを行っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画を基に個別の日々の変化を記録しており、モニタリング表を参考に介護計画の見通しに活用しています。		毎日モニタリングに記録したり、申し送りノートに記入し毎日業務に反映いたしております。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	全体にバリアフリーになっており、手すりやトイレ、洗面所、に安心して生活が出来るように作られています。浴室も、手すり・すべり止めなどを設置し入浴出来るように工夫しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員さんとも月に1回お会いして話す事や中学生の体験学習なども2ヶ所の中学校より受け入れて行っています。		地域の消防団にも協力いたしております、年2回消火訓練などで消防署の方々にも指導頂いております。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の介護支援専門員との連絡を共有しておりあったかハウス施設内の見学などに来られています、こちらからもサービスを受ける際の情報交換を致しております。		見学に来て頂いたり話を伺うこともあります、(寿福園等)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	相談委員や介護保険課の職員と話し合いを持ち支援できるように取組んでいきたい。	○	日置市では包括支援センターは出来たばかりなので、今後は連携をおこなって行きたいと思っております。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ゆのもと記念病院と医療連携を図りながら、常時状況報告に務めて、体調不良時などの早期発見に務めるよう支援しています。		ご家族様に説明し了解のもと医療連携、居宅管理指導を受けております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	常に24時間協力病院または主治医との連絡がすぐ付けられるようになっており指示が受けられます又 医療連携も図り常に主治医又は看護師と連絡を回しています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関と連携を取り、週1にナースも様子を見に来て下さっています。必要な方は、居宅療養管理指導も入っています。		常に看護師と連絡を取り合っています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、面会に伺い1日も早く元気になるように声かけ等行っています、早期退院について医療機関との話し合いもしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者様の状態を主治医、ご家族様、スタッフが話し合いを持ち家事家族さまと連携を取り支援いたしております。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療機関とも話し合いを持ちながら、毎日の申し送りやミーティング等でも、入居者様に合わせての介護の仕方を見極めケアを行い、安心・安全に過ごせる様に支援しています。介護職員は病状に対しての勉強会を行い緊急時の対応も勉強しています、(普通救命講習会も受けています)		緊急時は主治医と直に連絡が付けられる様になっています。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	各医療福祉施設との協力をを行うとともに、ご家族様との十分な連携の基で、入退居時のダメージを極限に減らす様努めています。		他の施設に転居去れる場合は介護連絡表など渡しております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	1人1人の個性を重視し、理念に沿って「ゆっくりゆったりけれどもしつかり」を基本にゆっくりと声かけし支援いたしております。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	外出や食事の献立に入居者の意見を聞き予定を立てていません、希望を取り入れておこなっています	野菜の炒め物や酢豚が食べたいなど希望を取り入れております。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様を急がせることなくさり気なく声かけしてその人の状態にあわせて行っていただき見守りしながら支援しています、	入浴時や食事の前声かけを行いながら好きな時間にフロアーに出てきていただいています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	地域の美容院の方に2、3ヶ月のペースで来て頂いています、	家族様や本人の希望により他の美容院に行かれることもあります
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は能力に応じて行って頂いています、もやしの根切り、大根スリ、食後はお盆拭きや食器拭き等声かけで配膳下善をして頂ける場合もあります。	車椅子でも大根すりやもやしの根ぎり、卵の皮むき等能力に応じて行なっていただいております。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコ・お酒は日常的に希望される方はいませんが、お酒は花見やクリスマス会などのイベント時には希望にてお出しています。	ご家族様の許可も頂いて好きな物を購入して頂ける様に致して降ります

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個別のサインを見逃さずに声かけや誘導をしております、(手を上げたり、もじもじしたりしたり)		チェックはようを作成し記録して声かけ致しております。トイレ介助により排泄が出る入居様には声かけお行い支援いたしております。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、お好みの時間を配慮している。部分浴、清拭・更衣等も行っている。		自分一人で入浴出来ない方が多い為に入浴時は声かけしながら入浴しております。何日も入浴拒否される時は(今日はよか温泉が入っているよ」などと声かけすることでお風呂に入られる方もおられます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者様一人一人の睡眠パターンを把握し、夜眠れない入居者様には、話などをしてたりお茶を一緒に飲んだりして自然体で接している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	グループホームの基本である自立支援に向けた場面作り(畑の作業等)を職員は、一人一人の能力(尊厳)に合わせて支援を行っております。		自分では出来なくても種を畑に蒔いたりして大きく成長することを楽しみにされています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様やご家族様と相談の上、入居者様それぞれの希望に応じて金銭管理の支援をしています。(お菓子やヤクルトを買っています。)		ヤクルトを購入いたしております。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者様が外に出たいときにスタッフと一緒に散歩に出たりドライブをしたり庭先で花壇を御覧になったり、お茶を飲んだりして過ごしています。		自由に出入りでき帰宅願望時は一緒に散歩したりしています
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	レストランに食事に行ったり、妙円寺公園にドライブに行ったりしています。		皆さん外食を楽しみにされています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月お便りの発送をしたり、お手紙・はがきの代筆を行ったり、電話など取次ぎを行っております。		本人の希望時は電話かけたりしてご家族様と楽しく会話されています、地方の子どもさんの電話でなみだを流される方もおられます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問していただくように、声かけ、笑顔にて入居者様代理でお茶の接待をしている。訪問時は心地よく過ごせるような配慮をしております。		
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回のミーティング時に身体拘束をしないケアの勉強会を実施しており、帰宅願望時は一緒に安全性にも気を配って散歩に行きます、10分ほどで車にて迎えに行くも満足して帰宅します。		拘束は一切いたしておりません、今後も行ないません。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自由に入出入り出来るようにしており、鍵をかけず気配りをしています。外に出る際は、一緒に出かける様に支援しています。		外に出かける場合は職員と一緒に怪我が無いように支援いたしております。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者様の目の届く範囲に常時職員が居るようにし、さり気なく対応支援しています。		昼間は職員が目を話す事の無いように気を付けて安全に過ごせるようにいたしております、夜間は21時、0時、3時、5時と夜勤やが見守りを行い安全に努めて降ります。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬、洗剤、刃物の管理には注意しています。必要な時は一緒に危険がないように使っていただいたりして常に安全に使用出来るようにしています。		鍵付きの薬品庫に保管しております、刃物は流し台の奥に毎回片づけております。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救急対応マニュアル作成されており職員は認識してます、又防火訓練等年2回行っております。常時入居者様の状態には声かけて注意をいたしております。		入居者様の状況を職員の皆さんが理解され対応して行っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急時のマニュアルもあり緊急体制も行なわれており又スタッフ全員、普通救命講習を受講しております。		普通救命講習期限がありますが、継続し講習会に受講いたしております、新人職員も講習会に行っていたいております。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている	年2回の防火訓練をしています。自治会長や近隣住民に協力出来るように声かけをしています。地区の消防団とも連絡致しております		近隣にも声かけ致しております。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	意見箱の設置、面会時の声かけ、家族会の利用などで、気軽に相談出来るようにしています。		面会時などに状況説明はいたしておりますが入居者様や御家族の意見も聞き対応いたしております。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	主治医への迅速な連絡が出来るような体制が出来ております。毎日のバイタルチェックで一人一人の目安を把握してします。		緊急時は主治医や看護師、管理者と連絡体制が出来ておりご家族様にも連絡いたしております。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師さんに指導していただいております、解からないときは連絡にて教えて頂きます又報薬管理表も戴いており、職員何時でも見られるように各モニタリングにつけています。		主治医に直接お尋ねする時あります。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	脱水症の勉強会やレクリエーション等で体操をしたり、水分量をチェックしており、食事野菜を多く出すように心掛けています。		食事の献立にも配慮し栄養士さんとも相談することもあります。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	誘導や介助で皆さんが毎食後行っています。夜間は義歯の人はポリドントを使用しています。又、月1回の訪問歯科で指導を受けています。本人が出来ない場合は職員が介助しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士さんの指導の元に栄養管理しています、毎日食事チャートに記録し、職員全員が情報を共有するとともに、水分補給や栄養バランス等に気をつけるようにしています。		透析の方が居られる為に特に注意し病院、栄養士さんと連携を行なっています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを作成しています。予防接種を受けており、うがい、手指消毒や手洗の励行もしています。		予防の為にハイターにて拭き掃除をおこなっております、面会の方にも声かけし手指消毒をおこなっていただいております。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日台所、調理用具等の殺菌・消毒しております。また、冷蔵庫の中には一週間に一回掃除し、賞味期限の日付もチェックしています。		食材にも気をつけており、まな板等も使用時熱湯消毒して使用します、冷蔵庫の掃除もして食中毒の予防に努めております。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭菜園やプランターや鉢に花を植えたりし、誰でも安心して出入り出来るような環境作りをしています。		いつでも誰でも出入りできる様に解放いたしております、時にはトイレを借りに来られた方もおります。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の物を飾ったり、ソファやコタツなど家庭的な調度品を持ち込んだり、心温まる生活環境作り心掛けています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広いテーブルを囲んで、入居者様が全員と交流出来るようにしており、居間や食堂にはソファを置いて、自由に過ごせるようにいたしております。談話室にもソファが置かれゆっくりに致しております。		夕食後にソファに腰掛けてゆっくとされて休まれる方もおられます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様にも声かけ致しております、ベッド・寝具・タンスは家庭的なものが備えてありますが使い慣れたやテレビ等持ち込まれており、写真や絵、手作りカレンダー等があり、安心できる場所を提供しています。		1人暮らしの方々に仏壇などを持って来られた入居様もおられました。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気に注意しています、天候に応じて、天窓や部屋の窓も開放して、健康的に過ごしていただける様、心掛けています。(温湿度計も設置いたしております)		業務日記に毎日記録いたしております。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差が無く、安心して移動出来るように必要な所には手すりが設置してあり、浴室にも滑り止めやシャワーチェア等の配慮をしております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	洗濯物たたみや更衣など出来るだけ、職員と一緒にご自分でしていただいています。		入居者様に合わせその人の能力に応じ行なっています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	寒い日は部屋に閉じこもり気味ですが温かくなりますと草花、菜園を見に外に出る機会が多く、水をかけるなど職員と一緒に短い時間ですが楽しんでおります。		皆々様喜んで花をご覧になつております小さな畑ですが、毎年スイカも植えています。

V. サービスの成果に関する項目	
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の
	②利用者の2/3くらいの
	③利用者の1/3くらいの
	④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある
	②数日に1回程度ある
	③たまにある
	④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が
	②利用者の2/3くらいが
	③利用者の1/3くらいが
	④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と
	②家族の2/3くらいと
	③家族の1/3くらいと
	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように	
		②数日に1回程度	
		③たまに	
		④ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている	
		②少しずつ増えている	
		③あまり増えていない	
		④全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が	
		②職員の2/3くらいが	
		③職員の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が	
		②利用者の2/3くらいが	
		③利用者の1/3くらいが	
		④ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が	
		②家族等の2/3くらいが	
		③家族等の1/3くらいが	
		④ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)